



送信先：帝京大学医学部附属病院薬剤部 担当者

FAX: 03-3964-9426

受付時間：平日（月～金曜日） 9：00～16：00

土曜日 9：00～11：00

※日曜日、祝日、年末年始を除く

吸入薬の適正使用に関する情報提供

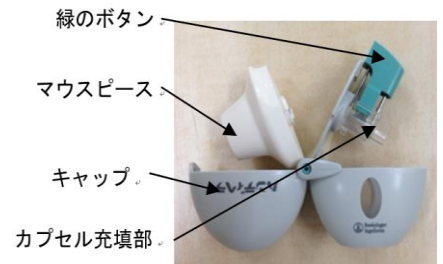
情報伝達の流れ：保険薬局→薬剤部→主治医

<注意> このFAXによる情報伝達は、疑義照会ではありません。
使用前に必ず、当院薬剤部のホームページから運用方法の確認をお願い致します。

トレーシングレポート（服薬情報提供書）

■スピリーバ吸入用カプセル

処方医：	科	御机下
患者名：	ID(診察券番号)：	
保険薬局名称：		
所在地		
電話番号：	FAX：	



●カプセルの準備 チェック（計2項目）

操作	確認事項	OK	難あり
①カプセルの入ったシートを半分に割って3カプセルの列と4カプセルの列に分ける。	7カプセルのシートのままカプセルを取り出さない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②アルミのシートをはがし、カプセルを <u>1つだけ取り出す。</u>	シートから <u>1カプセルずつ取り出す。</u> 7カプセル同時に取り出さない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

●吸入操作 チェック（計10項目）

操作	確認事項	OK	難あり
①ハンディヘラーのキャップをあける。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②中の白いマウスピースを開ける。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③カプセルを充填部に入れる。	正しい場所にセットする。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④中の白いマウスピースを閉める。	カチッと音が鳴るまで閉める。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤緑のボタンを押してカプセルに穴をあける。	本体を <u>まっすぐにしてボタンを押す。</u> 逆さまにしたり傾けたりしてボタンを押さない。 <u>マウスピースは閉めてからボタンを押す。</u> 緑のボタンは <u>1回だけ押す。</u>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ <u>軽く</u> 息を吐く。	<u>マウスピースをくわえずに</u> 息を吐く。息を吐いた後、吸入するまで息を止める。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦マウスピースを口でくわえて吸入する。	ゆっくり深く吸気 する。カプセルの震える音が聞こえて震えを感じるくらいの速さで吸う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧吸入口から口をはずし、5秒程度息を止める。	(メーカーの説明書では、苦しくない程度に息を止めると記載)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑨吸入後うがいをする。	喉のガラガラうがいでだけでなく、口のグチュグチュウがいもする。(うがいは必須ではないが口渇などの副作用を軽減できることがある)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑩カプセルを廃棄する。	カプセルは手に取らず、直接ゴミ箱に捨てる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

●その他の確認事項 チェック（計2項目）

確認事項	OK	難あり
①ハンディヘラーは月に1回程度、新品に交換する。月に1回程度水洗いをした場合、年に1回、新品に交換する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②朝何回、夕何回など吸入回数をしっかり把握する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

●副作用確認(副作用がある場合は☑でチェック、判断が難しい場合は下記の連絡事項の欄に記載)

口渇 尿閉(頻尿、残尿感などの症状) 緑内障(眼痛・視覚異常などの症状) その他()

●保険薬局から処方医への連絡事項

●保険薬局への返信欄(空欄で送付)

医師からの吸入指導への同意

【その他】

返信日時 月 日 担当薬剤師

